

## 首の外れたキューピー人形

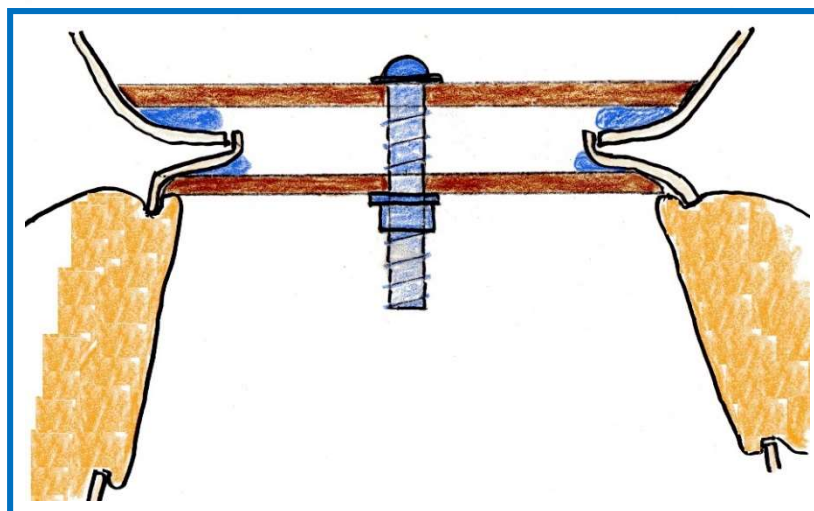
2021. 09. 24 ゆきや

見るも痛ましいキューピー人形が来ました。年配のご婦人からの、たつての依頼です。背丈45センチほど、頭と胴体が完全に外れていました。胴体の上に突出している筈のホゾの出っ張りが、ちぎれて無くなっていたのです。

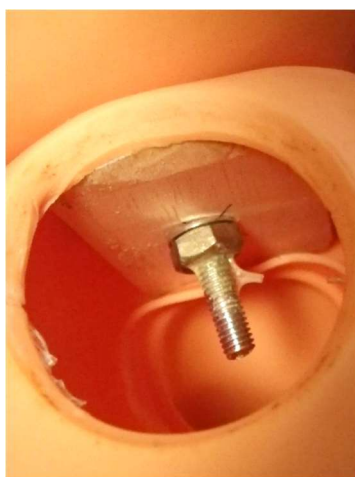
あれこれ思案しましたが、結局頭の中と肩の所に芯木を入れ、その2枚の芯木をボルトで留める事にしました。キューピーの首のあたりを前から見た概念図です。

本来なら首から立ち上がったホゾが、頭の中にしっかりと食い込んで、外れなくなっている所です。

先ず作業しやすいように、両方の腕を外します。右脇の下にもひび割れがあったので、慎重に慎重に腕の元全体をドライヤーで温めて軟化させながら外しました。



頭と首と、それぞれ幅が狭くなる所に、長さを調整しながら芯木を入れて接着しました。(合成ゴム系の接着剤を使って、何とか留まってくれたようです)



その2枚の芯木をボルトで締め付けます。ボルトは作業し易く、しっかりするように、太く長いものにしました。(この場合は 太さ6ミリφ、長さ60ミリ)

腕の穴から芯木とボルトを見た所です。ボルトとナットは、念のため接着剤で緩み止めを施しました。右脇のひび割れも接着しておきました。(MOS8接着剤)

この修理の利点は、首が回る事です。かと言って無理をされても困りますが、

しっかり首の座ったキューピーです。



以上